

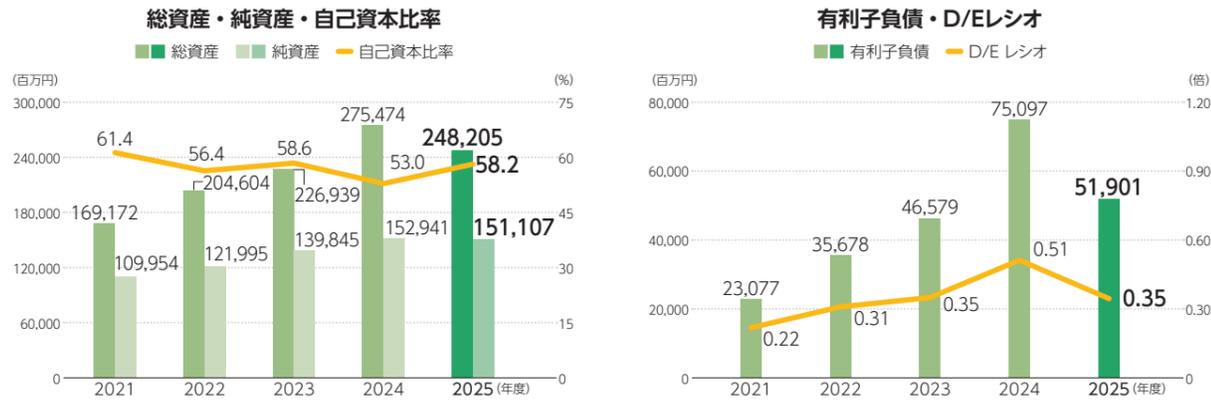
▶ 収益の状況

2025年度の売上は前年並みで15年連続の増収となりましたが、営業利益は減益となりました。また、2025年度の売上高営業利益率(ROS)、自己資本利益率(ROE)はそれぞれ8.5%以上、11.0%以上の目標に対し、6.2%、3.0%にとどまりました。



▶ 資本と調達状況

2024年度、世界的な農薬の在庫調整の影響により棚卸資産(在庫)、有利子負債が一時的に増加しましたが、戦略的にCCCの改善を進めた結果、在庫、有利子負債水準の適正化が進みました。



▶ 投資の状況

工場プラントの新設や研究所の整備などを実施。新開発に向けた研究開発投資も積極的に実施しています。



▶ 株式還元状況

現中期経営計画で設定した「配当性向30%以上を安定して達成する」という方針に基づき実施しています。



▶ 環境への影響

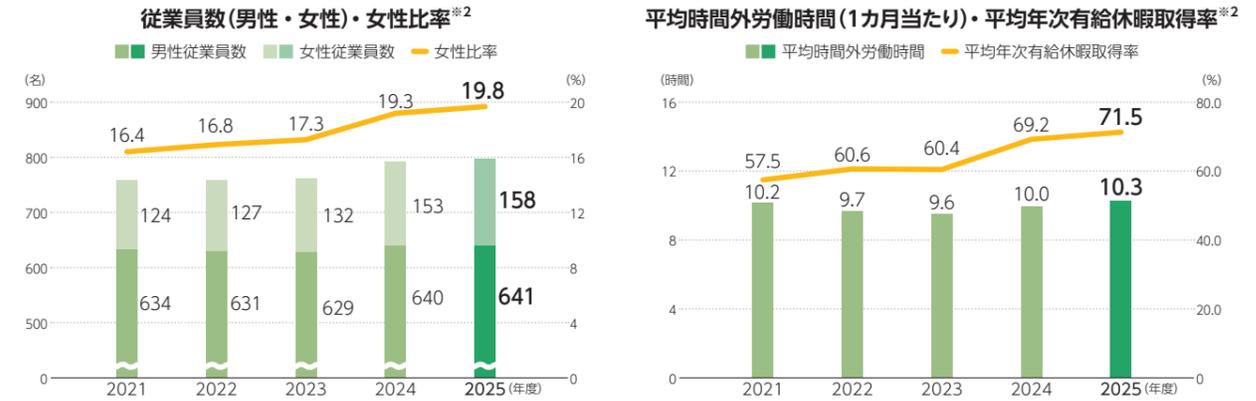
2025年度の売上高は2019年度比で約65%増加していますが、温室効果ガス(GHG)排出量は同年度(67,009t-CO<sub>2</sub>)比約29%減少しており、現時点で2030年度の数値目標達成の目途が立ちました。

(注) Scope1+2のGHG排出量をグループ社を対象に2030年までに2019年度比30%削減とする目標

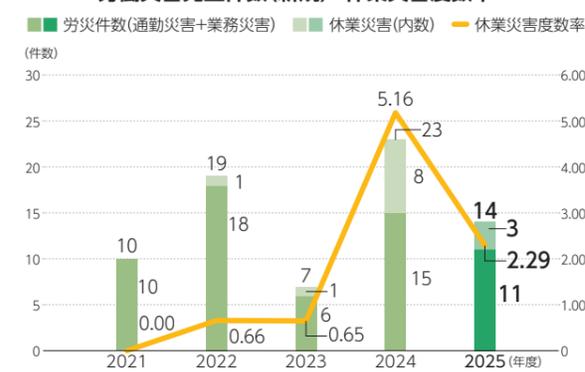


▶ 人材戦略ビジョンに向けて

「クミアイ化学グループ人財マネジメントに関する基本方針」に基づき、中期経営計画の「人材戦略ビジョン」に掲げるダイバーシティ&インクルージョンおよびワークライフバランスの推進を図っています。



▶ 労働災害発生件数(新規)・休業災害度率



▶ 育児休業取得率(男性・女性)



※1: 連結7社(クミアイ化学、理研グリーン、イハラニッケイ化学工業、ケイ・アイ化成、イハラ建成工業、尾道クミカ工業、クミカ物流)  
 ※2: クミアイ化学単体 ※3: クミアイ化学単体の直接雇用者を対象